



88110152



JAPANESE A1 – STANDARD LEVEL – PAPER 2
JAPONAIS A1 – NIVEAU MOYEN – ÉPREUVE 2
JAPONÉS A1 – NIVEL MEDIO – PRUEBA 2

Monday 14 November 2011 (morning)
Lundi 14 novembre 2011 (matin)
Lunes 14 de noviembre de 2011 (mañana)

1 hour 30 minutes / 1 heure 30 minutes / 1 hora 30 minutos

INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the Part 3 works you have studied. You may include in your answer a discussion of a Part 2 work of the same genre if relevant. Answers which are not based on a discussion of at least two Part 3 works will not score high marks.
- You are not permitted to bring copies of the works you have studied into the examination room.

INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Traitez un seul sujet de composition. Vous devez baser votre réponse sur au moins deux des œuvres de la 3^e partie que vous avez étudiées. Le cas échéant, vous pouvez inclure dans votre réponse une discussion sur une œuvre du même genre littéraire étudiée dans la 2^e partie du programme. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la 3^e partie n'obtiendront pas une note élevée.
- Vous n'êtes pas autorisé(e) à amener des exemplaires des œuvres que vous avez étudiées dans la salle d'examen.

INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Elija un tema de redacción. Su respuesta deberá basarse en al menos dos de las obras estudiadas en la Parte 3. Se podrán hacer comentarios sobre una obra de la Parte 2 del mismo género, si fuera necesario. Las respuestas que no incluyan una discusión sobre al menos dos obras de la Parte 3 no recibirán notas altas.
- No se permite traer a la sala de examen copias de las obras estudiadas.

次の問題から一つを選んで、エッセイ（小論文）を書きなさい。エッセイを書くにあたっては、授業で学習した Part 3（ジャンル別の部門）の中の、少なくとも二作品に言及しなさい。なお、Part 3 の作品に加えて、Part 2（精読の部門）の同じジャンルの作品を扱ってもよいが、あくまでも Part 3 の作品を主にしてエッセイを書くこと。

物語・小説

1. 文学作品において、登場人物を取り巻く経済的状況が彼らの運命に影響を与える場合が多くあります。そこに作者のどのような工夫が現れていますか。
2. 人は理想と現実の違いに悩みます。あなたの学んだ文学作品において、それはどのように描かれ、そこに作者のどのような意図が見られますか。

随筆・評論

3. 作者は自己の考えを分かり易く伝えるために、効果的な例を使用します。それはどのように描かれ、そこに作者のどのような工夫が見られますか。
4. 「死を認識することは、生をより良く知ることにつながる」という考え方について、あなたの学んだ作品から例を挙げながら論じなさい。

詩歌

5. 詩歌において作者は、短い詩句に多くの想いを込めようとします。あなたの学んだ作品において、作者はそこにどのような工夫をしていますか。
6. 詩歌において二つの対立する概念（生と死、希望と絶望など）が良く現れます。あなたの学んだ作品では、それはどのように描かれていましたか。

戯曲

7. 戯曲を読み終えた時、読者は様々な想い（怒り、喜び、疑問など）を呼び起こされます。あなたの学んだ作品においては、それはどのようなものでしたか。またそれはどのような効果を生んでいましたか。
8. 文学作品において、小道具（舞台上で使う衣類、宝石、武器、手紙等のこまごまとした道具）が重要な役割をすることがあります。学んだ作品から詳しく例をあげて、この考えについて論じなさい。

一般的設問

9. 文学作品において日常的な動作（飲食、睡眠、洗顔、散歩など）が重要な役割をすることがあります。あなたの学んだ作品においてそれはどのように描かれていましたか、論じなさい。
 10. 「夢は実現しないからこそ価値がある。」という考え方があります。この考えについて、あなたの学んだ作品から例を挙げながら、論じなさい。
 11. 「何かを実現するためには多少の犠牲はやむを得ない」と考える人がいます。これについて、あなたの学んだ作品から例を挙げながら、論じなさい。
 12. 作品の舞台となっている土地の風土（その土地固有の気候・土地柄などの自然条件）が作品に与える影響について、論じなさい。
-